

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 5 年 12 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 32 号 令和 5 年度松戸市一般会計補正予算(第 5 回)
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>政策実現フォーラム・社民は、可能な限り、本会議や委員会など、公の場で実際に討論した内容を「議案に対する賛否態度に至った理由」として掲載しています。以下、今回賛成に至った理由です。</p> <p>今回、相模台土地区画整理事業を進めるにあたり、その事業を補完するためとして、通称 S 字道路下の交差点周辺の用地取得を目指すこと。そのための用地測量、その費用を含む補正予算が提案されました。</p> <p>しかし、今回の用地測量並びに当該用地取得は新拠点ゾーン整備基本計画には記載がありません。</p> <p>ですので、なぜこの用地取得が新拠点ゾーン整備事業の補完となり得るのか？又なぜ今回このタイミングで提案されたのか？など今回の提案が唐突過ぎかつ疑問に感じずにいらませんでした。</p> <p>そこで、委員会ではこの点を主眼に質疑をいたしました。</p> <p>疑問の一点目、なぜ相模台地区土地区画整理事業に含まれなかったのか？と質疑しましたが、「計画に織り込むのには、区域内の宅地の権利を有する方々全員の同意が必要と考えていたが、計画策定時では、その同意が得られておらず、又、見通しも立っていなかったため」との答弁がありました。</p> <p>次に疑問の2点目、なぜこのタイミングでの提案になったのか？については、対象地権者の中に生活事情の変化があり、すぐにでも土地を売却したい意向があることを確認したためとの事でした。</p> <p>しかし、こうした市の答弁をお聞きしし、「巨額の費用が予想される新拠点ゾーンの整備にもかかわらず、その費用に見合うように慎重に計画的にすすめているのだろうか？」と逆にあらたな疑問を感じてしまいました。</p> <p>市は区画整理事業の今後の展開について、まず新拠点ゾーン南側国有地を取得した後、市役所を移転させるとしていましたが、5月の臨時議会でその新拠点ゾーン南側国有地取得議案は否決されました、</p> <p>国有地購入が否決されその購入が遅れることが確実になり、この影響として、市は「区画整備事業のスケジュールにも影響を及ぼす」と答えています。</p>

つまり南側の国有地を買えないと、区画整理が進まない、S字道路の整備も進まない。ということなのでしょう。

さらには、先のわが会派の原議員による一般質問の中で、新拠点ゾーンへの松戸駅からのアクセス確保について、「カギを握る隣接地権者との協議は進んでいるのか？アクセス確保は必ず出来ると約束できるのか？」の問いに対し、市からは明確な答弁がありませんでした。

このままこの大事な部分があやふやなままで本当に費用をかけ事業を進めていいのかと、事業推進そのものへの不信感も正直隠せません。

加えて、事実上、区画整理事業そのものが止まってしまっている今の状況、かつ、地権者全員の売却意向が確認まだ出来ていないこのタイミングで整備計画にも記載がない用地取得をいそぐ必要が果たして本当にあるのか？と考え、委員会ではこの測量費相当を削除した、修正案を提出しましたが、残念ながら否決となってしまいました。

S字道路下交差点に右折レーンを設置することは自体は我々も必要であると考えているので、必要な用地の測量並びに用地取得は理解できますが、それとて今のタイミングが良いのかは疑問です。

繰り返しになりますが、大型事業の進め方に見合った計画的な進め方としてはどうかと思いますし、今回の用地測量、用地取得がどうしても必要な事業であるというならなおさら手続きは重視すべきです。

我々としては、まずは新拠点ゾーン南側国有地の取得が済んでから進めていく内容であると思っています。

このような考えから現段階での用地測量には賛成しかねますが、残念ながら修正案は否決となってしまいました。

そこで、補正予算全体を反対するか否か悩みましたが、その他の事業については、その重要性を鑑み、総合的に判断して本補正予算には賛成することとしました。